社說

工業の前途

工業立國の必要は從來世人の唱ふる所なれども其實を取むる迄は甚だ困難にして現に今日に至るまで農產物の輸出國たるを免かれざるのみならず輸出工藝品の項目に就て見るも完成品は未だ少なくして絹絲の如き半製品が其多分を占むる有樣なりと云ふ元來我國は人口の多き割合に土地の面積狹きを以て農業國として棉花羊毛其他の原料を海外に依給する能はざるは明白の事實なれば寧ろ支那印度亞米利加其他の新開國より原料並に半製品を輸入し之に加工して海外に販路を求むるを國富を增進する道なるに工業の實際右の始末にして絹絲生絲の輸出は盛なれども綿織物稍布類の輸出微々として振はざるに於ては假令ひ二三工藝品の產額が增加したりとするも決して工業全體の進步と云ふ可らず近年我工藝品が着々販路を海外に擴張するに至りたるは全く內地に於ける職工の賃銀低廉にして外國の競爭品に比して生產費の節約を得るが爲めに外ならざれども今後社會の進步と共に生計の程度一般に上進するは必然の成行なれば賃銀の騰貴は到底免かる可らざるのみならず半製品の製出は其容易なるを以て何時外國に競爭者を見る可しとも限らず現に銀價下落の勢に乘じて支那の內地に紡績業興起して我同業者に競爭を試むるに至るは疑ふ可らざる事實なり我輩が我工業の前途に就て憂念を懷くは此一點にして斯る成行を免かれて永く海外の販路を維持せんとならば當業者が今日の如き粗製品の製出に滿足せず大に職工の養成に注意して優價の熱練と綿り原料機械と精巧とを以て精巧品の製出に着手するを所要なれ即ち紡績業に就て云へば今日の如く輸出向き太絲の製出にのみ全力を費すは不得策の實なりしきものにして先頃販路杜絕して關西地方の紡績會社が非常の困難に陷りたるも畢竟綿絲の種類を二三種に限りたるが爲めに外ならざれば今後は此方針を改めて綿織の製出を盛にし更らに進んで綿織物業の發達を謀らんには經濟上の利益は勿論販路を擴張するには此上もなき便利なる可し又今日生絲の輸出は日に衰へ〳〵盛なれども絹織業の發達せざるは我工業の欠點にして當業者たるものは今日の如き羽二重甲斐絹の無地物を製出するを以て足れりとせず我國特有の美術思想と手藝の精巧とを利用して成る可く西洋諸國の流行に投ずるものを製出し伊太利佛蘭西の特製品と競爭して初めて事業繁昌の基を開き販路を固うするを得るに至る可し佛國西の如き自國產出の生絲は需要の三分一を充すに過ぎずして他は盡く我國を始め支那伊太利の供給を仰ぐに拘らず製造の技倆だ巧にして百圓の原料を以て數百圓に仕上ゲるを得るに反し生絲の供給を未だ足を拾ひざる我國に於て絹織物業の發達せざるは解し難き次第なり或は多年相續品の製出に從事したる職工に巧拙の差異あるに如くに考ふる者も多少の困難せんには我輩は脫する能はず機で地歩に相當法より次第に進むは工業の進步に自然の順序にして近くは我紡績業の發達に就て見るも其始めは外國より機械を輸入して十手內外の太絲を製出し從來地方の婦女子が農間に木綿車を用ひて紡績したる絲を排斥したるに過ぎざりしものが年月を經るに從て次第に細絲の製出を見るに至りたる次第なれば當業者にして少しく事業の改良に意を用ふるときは區々たる政府の保護干涉なども待たずして其實を擧ぐるに難からず今後製糸事業にして內地に起り外國の輸入を經すして工業用の諸機械を供給するに至らんには工業の前途甚だ多望なる可し要は當業者が大勢の推移する所を察して之に後れざらんことを勉むるにあるのみ既往に於て紡績製紙業等が多少發達したるを以て既に工業立國の目的を達したるが如くに思惟し毫も前途に盡瘁する所なきは短見の甚だしきものにして今日は猶に事の端緒を開きたるに過ぎず當業者の決して滿足す可き時に非ざるなり

○山階宮殿下薨去に關する公報

一昨夜附の官報號外を以て左の通り公示ありたり

閣令第一號

告示

宮內省告示第五號

大勳位晃親王殿下今十七日薨去アラセラル

明治三十一年二月十七日　宮內大臣　子爵田中光顯

宮內省告示第六號

大勳位晃親王殿下薨去ニ付今十七日ヨリ五日間宮中喪仰出サル

明治三十一年二月十七日　宮內大臣　子爵田中光顯

內閣總理大臣　侯爵伊藤博文

大勳位晃親王殿下薨去ニヨリ宮中殯宮出タルニ付今十七日ヨリ三日間歌舞音曲ヲ停止シ葬儀執行當日ハ京都府ニ限リ尙ホ之ヲ停ム

明治三十一年二月十七日　內閣總理大臣　侯爵伊藤博文

宮內省告示第七號

晃親王殿下葬送ニ付宮中喪五日間嘉祥宮有栖川宮位有勳宮典內ノ節左ノ通

明治三十一年二月十七日　宮內大臣　子爵田中光顯

喪主

大祓獻　一黑紗ヲ左腕ニ纏フ　一黑節白、手遠紙久ハ白色

雅樂奉仕　一黑紗ヲ左腕ニ纏フ　一黑節白、手遠紙久ハ白色

通夜殿（上下黑）一黑紗ヲ以テ帽ヲ巻ク　一黑節黑手遠紙久ハ黑色

陪人

一黑地黑色　一手遠紙又ハ黑色

雅樂奉仕者及相當官ハ左腕ニ黑紗ヲ纏フ

宮廷錄事

○晃親王殿下御容體　晃親王殿下ハ昨日午後一時半頃ヨリ御病勢倍加シ殿下ハ昨夜御化器及御嘔吐器ニ臨御ヲ仰セラレ御容體ヲ御心配遊ハサレ四十分餘侍醫ハ殿下ニ御心配遊ハサレ今十七日午前二時

○鐵道事務の改良　其筋にては郵便電信鐵道の事務に關して改良の道を求むるに急なるが如く是迄鐵道に依り運路を旅行するもの途中にて一泊せんとするとき一々其手荷物を換轉して持ち行くの不便なりしが停車場に於て乘客の依頼に應じ手荷物を預り置くの便を開かんとて昨今其方法を考究しつゝあり又停車場に設けたる郵便箱は從來、上り列車、下り列車等の區別に應じて必要の數を具へ置きしかば驛車に際し郵便物の向先を區分するなどの面倒もあり驛逐の迅速を妨ぐること少からざりしよしなれば今後、漸次に此欠點を補ふが爲め各停車場に試列車の方向に應じて必要の郵便箱を備ふるみとに成るべしといふ

○海軍筆記の募集　橫須賀鎭守府にては今回海軍筆記凡名を募集するが爲め水原少佐、小林少主計に其學術試驗委員を命じたり試驗科目は讀書（携則類、史類）、作文（記事文、通俗文）、算術（四則）、習字（楷行草）にて試驗は來る二十三日より東京築地海軍大學校に於て行はるゝ筈なれば志願者は來る二十日までに願書を差出すべき都合なりと

○英國東洋艦隊司令官　は曩に更迭の都合となり新任司令官セーモーア氏は既に此程來着したるが同艦隊仁川集中の頃は尙は前司令官ブッラー氏司令樣を握り居たり然るにブッラー將軍は去る九日軍艦ビーク號を以て定海に向け上海を出發したる由なれば同地に於て愈よ更任の手續を濟ませたるべしと云ふ

○キューバに於ける米國艦隊　昨日のロイテル電報に米國軍艦メーンの破裂したる由を報ぜるが又アントには去月末より多數の米艦集合せる者にて米國新聞に見ゆるものを擧ぐればニューヨーク、インディアナ、マサチセト、アイオワ、テキサス、モントゴメリー、デトロイト及び此メーン外に水雷艇カッシング、デュポント等當二十二三日頃に同港に急行したるものなり此等多數の軍艦が同嶋に差向けられたるは同嶋に於ける過激なる西班牙人が米國の總領事リー氏を襲ひ米人居留地を破壞せんと企て密に檄を飛ばし居たりとかにて米國政府の捨て置き難く此に出でたるなりと云ふ樣文其の實否は固より知らずと雖も一昨日の本紙に掲げたるロイテル電報に米國政府はフロリム氏書面中米國海軍運動の目的に關するものを取消さしめたりとあるは亦テロリム氏は此騷動につきて米國の野心にても喝破したるにはあらざるか詳しき事は未だ知るべからざれども米國の此騷動も容易ならざるが如き跡あり

○エドガー號の北航　其以前英國東洋艦隊中に艦を連ねたりし一等巡洋艦エドガー號の此程支那海に來着したるは乘替水兵及び水雷艇等を輸送し來りしものにて新に任務を解かれたる水兵等を直に之に搭載し同艦は間もなく歸航するものなりと思ひしが絕東の形勢不穩なりしが爲めにや暫く香港に滯留し居たり然るに同號乘組員は去る五日遽に艦長より全く必要なしと云ふを聞りて其他の所有品及之を艦外に送り出し或るべく兵器を搭載し得るの餘地を有すべしとの命を受け乘員等は種々の雜品を持ち去り街上に投げ棄て又は支那人に與へ放てりと云ふ是は北航して東洋艦隊に加はるが爲めなりとの說あり

○犯罪の美術（廿七）

醒蜂譯

滿座の衆を傾聽せしめて、伴の說き出づるやうは、

『元來御承知の如く、那の婦人は革鞄に入れて、寶石を持つて居たので御座ります、だから、盜賊が御座りまして、その革鞄を奪ひ取り、之を密かに携げ繫てたとしますれば、婦人は革鞄が見えませんから、周章て騷いで、直に寶石を盜られたものだと速斷致し仕ます、是は無理のない事で御座りましやう。貴方がその寶、盜賊は寶石を盜らないで、婦人が襲て居る間に、窃とその袂の中に、之を收め込んで置いたので御座りましやう。』

是が所謂伴の眼し場所なり。伴は是みを、盜賊の圖星を指せりと信ぜり。此まで云はゝ、必ずその色を動かしぬべしとは、伴は疑ひたるもや說ぶぬ。

か、若しは笠村、なかりしにや。のやうに、笑ひ出し『それは伴君、餘んりや君は、何ふのだ。』

『ハイ、婦人を殺すは是にても、二人はへゝ。盜賊の違ひ方、斯一錢、よしや手を重外に隱したんしかりしは、是は伴は斯くなん思伴の肩を叩いて、君はよいて、餘り考へて宜く仕て度却つて宜くなに過り過ぎるもの君が熊雄を探偵今度は頗ど見えすら、も少し善に授けて遣るみ程だ。』

これに探偵は色筋たてし、『ハイ、う御座ります、笑村さん、左れ根ひ下さいます其程の馬鹿でないさせん。假令私の餘り假想過ぎるた所で、私は是ば信して、探偵する座りません。探偵するものは、凡ての目を着けて見なはならないので御座ん方がれ授け下さる御輕定も、私には て居ります。ハイのれ者は斯うだしい位です。』と此方は莞爾ものみ々々。僕は東京の妙だ、賭に賭の一ッ賭けて見やうみの紙片に書きの僕は君に夕飯を奢ら、笑村はあり今にさと認めて、之握らしむ。

什は、『それでは、申多分盜賊は、豫め石を、共謀者の手